

国語特講

| 教科 | 科目名 | 単位数 | 学年・コース | 教科書名 | 副教材 |
|----|------|-----|---------------------|------|--|
| 国語 | 国語特講 | 3 | 2年選抜 (文系) 選択者 | なし | 『現代文長文記述問題集』2 三訂版 (いづな書店) 『現代文長文記述問題集』3 改訂版 (いづな書店) 『プログレス古文総演習標準版』三訂版 (いづな書店) |

| | |
|---------------|---|
| 学習目標 | 問題演習を通し、設問に対するアプローチの方法を学び、読解力と答案作成力を向上させる。 |
| 学習の進め方 | 1時間に1題、現代文と古文の演習を交互に行っていく。読解力の向上を主眼としているため、記述問題も積極的に取り上げる。適宜模試や大学入試の過去問も取り扱う。 |
| 評価対象・方法 | 授業の取り組みはもとより、定期テスト・小テスト、提出物を評価対象とし、総合的に評価する。 |
| 受講に向けての心構えと準備 | 大切なことは、自分の思考を客観化し、正答への筋道に納得しながら経験を積んでいくことである。語彙や文法等の下調べや習得は、事前に済ませておくこと。どんな問題に対しても筋道や根拠を明確にし、主体的に授業に臨む姿勢が求められる。 |

| | 学習事項 | 学習内容 | 備考 |
|-----|---------------------------------|------------------------------|---------------------|
| 一学期 | 現代文2 1～8 古文 1～6 | 演習をしながら設問に対するアプローチの方法を身につける。 | 第1回スタディサポート (4月) |
| | 中間試験 | | |
| | 現代文2 9～16 古文 7～12 | 演習をしながら設問に対するアプローチの方法を身につける。 | |
| | 期末試験 | | |
| 二学期 | 現代文2 16～20 3 1～4 古文 13～18 | 演習をしながら設問に対するアプローチの方法を身につける。 | 第2回スタディサポート (9月) |
| | 中間試験 | | |
| | 現代文3 5～12 古文19～24 | 演習をしながら設問に対するアプローチの方法を身につける。 | 第1回進研模試(11月) |
| | 期末試験 | | |
| 三学期 | 現代文3 13～18 古文 25～30 | 演習をしながら設問に対するアプローチの方法を身につける。 | 第2回進研模試(1月) |
| | 学年末試験 | | |